

シャットネラ オバータ(ラフィド藻)

(*Chattonella ovata*)

動画



大きさ 長さ50～70μm、幅30～45μm

形態 色は黄褐色～茶褐色。細胞は紡錘形で、後端はあまり尖らない。ほぼ同じ長さの鞭毛が2本あり、前方と後方に伸びるが、後方に伸びる鞭毛は観察しづらい。葉緑体は、細胞の中心付近から細長く放射状に伸びて、その間に液胞(えきぼう)と呼ばれる透明な部分が形成される。この姿が“ワラジ”に似ていることから、ワラジシャットネラとも呼ばれる。葉緑体が細長く伸びずに、細胞の中心部のみに顆粒状に分布して、細胞周辺部が全体的が透明になる場合もある。

動き ゆっくりと回転しながら泳ぐ。ほとんど回転せず、ゆっくりと滑るように動く場合もある。

漁業への影響：数百細胞/mlを超えると魚介類のへい死を引き起こす危険性がある。魚類の他、貝類(巻貝、二枚貝)、軟体動物(タコ)、棘皮動物(ナマコ)のへい死が報告されている。

漁業被害：平成19年に英虞湾～賀田湾にかけて広域的な赤潮が発生したが、漁業被害はなかった。

発生海域：熊野灘沿岸(英虞湾～賀田湾)

発生時期：7月頃(夏季中心)